

大規模校における別室の運営に関する研究

—別室登校生徒のより良い支援のために—

学籍番号 209215

氏名 宮路 素和侖

主指導教員 柿 慶子

1. 学校現場における不登校問題

現在、中学校における在籍生徒数は減少しているにもかかわらず、不登校生徒は増加している(文部科学省2021)。個々の生徒の状態像や家庭、学校における状況を鑑み、その後の支援の方向性を考える上でも、一時的に学校内に居場所を作り、教職員全体で支援を検討していくことは意義が大きいと考える。その際、組織的な支援のためには情報共有が必要である。本実践課題研究では情報共有が別室で支援を受ける生徒の状態や別室に関わる教職員の意識にどのような変化をもたらすかを探ることを目的とする。

2. 基本学校実習Ⅰ・Ⅱにおける実践

実習校は、A市の北東に位置する大規模校である。不登校生徒も多いことから、学校課題として一番に挙げられるのは、その支援である。実習で実際に別室生徒の支援をしている中で、それぞれの生徒の「別室に来ている目的や別室の在り方」が少しずつ違うと感じると共に、実習校が別室での支援を始めてから日が浅いことから、別室に対する教職員の認識や考え方がまだまだ統一されていないのではないかと感じた。

3. 実践研究1：不登校支援に関するインタビュー調査

不登校生徒支援や別室運営に関する実習校の教員の認識や考え方を、不登校生徒を持つ担任や生徒指導主事、養護教諭等7名の教員に対してインタビュー形式で聞き取り、別室の運営を阻害する要因、促進する要因を明らかにした。調査の結果、「実習校における不登校支援」「一般的に教員が感じている不登校支援」「アセスメントと実際の支援」の大きな3つの上位カテゴリーに分けることができた。

4. 実践研究2：質問紙調査 1回目

実習校の教員に不登校生徒・別室登校生徒の支援に関しての意識や認識を調査するために、4月に質問紙調査を行なった。調査の結果として「別室登校生徒支援は必要だ」「別室登校生徒の役に立っている」と考えている教員が多いことがわかった。また、情報共有をすることについては、教員によって意識にばらつきがあるため、「情報共有の必要性を

感じてもらうためにどのような実践を行うことが良いか」を考えて実践することとした。

5. 発展課題実習 I・IIにおける実践

インタビュー調査や質問紙調査の結果から情報共有の必要性を再認識し、別室登校生徒の支援のために、主に情報共有シート(別室ノート)の有効活用、職員会議や学年会議、生徒指導部会での情報共有を行った。4月から別室ノートを導入していたが、コロナ禍の影響もあり、生徒の記入に対するコメントが少なかったため、生徒指導部会で別室ノートを取り入れる必要性やメリットをもう一度説明した上で、10月の職員会議で全体に共有した。その他には毎月の生徒指導部会や職員会議で別室登校生徒の情報共有をする時間を新たに設け、生徒の通室状況や今後の目標について共有した。その結果、登校日数が多い生徒ほど、教員のコメント回数が多くなるという良い連鎖が生まれ、取り組みが進むにつれて、1日あたりの別室への登校人数と総滞在時間数(全出席生徒の滞在時間の総和)も、徐々に増加した。これは、情報共有の結果、教員と生徒との関わりが継続的に行われた結果ではないかと考える。

6. 実践研究3 質問紙調査 2回目

実施した実践の効果を測るために同じ内容の質問紙調査を12月に実施した。1回目と2回目の回答の平均をt検定(5%水準)で比較したが、有意な差は見られなかった。それだけ不登校や別室登校に対する考え方を半年間の取り組みで変化させたり、統一したりすることが難しいことがわかった。しかし、1回目の調査以降、別室での生徒と教員の関わりを増やすために情報共有シートを作成したり、頻繁に別室担当(筆者)から教科担当や担任に声をかけたりすることで、別室に関わる一部の教員の業務量は増加しているはずである。しかし増加しているにも関わらず、教員の負担感が増加していないことから、別室や不登校に対する教員の意識が全体的にポジティブになったと考える。

7. 総合考察

「別室の重要性は認識できている」が「体制や負担を考えるとデメリットも多い」という二つの相反する実態や認識の中で、筆者が今回取り組んだ「情報共有」ということの意味を考察すると、生徒にとっては充実した支援を受けることで、教員にとっては生徒の成長が見られる、という双方のメリットではないかと考える。

別室での不登校生徒支援は学校組織として必要不可欠なものであるが、別室運営には様々な考慮すべき点改善していかなければならない点も多くある。これらすべてのことを踏まえて、筆者にできることは何かを考えたときに、「これから現場に立つ教員の一人として、不登校生徒支援の重要性を発信し続けること」であると考えている。そして、別室のメリットデメリットを踏まえたうえで、それ以外の手立てについても考えていきたい。